

Media Information

フランクフルト

2026 年 9 月 8 日

※当資料は、DWS グループが 2026 年 9 月 8 日に発表したニュースリリースをドイツ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳したものです。日本語訳とオリジナル英文資料の内容に相違がある場合には、英文資料の内容を優先します。

DWS、Deutsche Asset Management（ドイツ・アセット・マネジメント）を新たなグローバルブランドとして導入

- 新たなアンブレラブランドの採用はグローバルな資産運用会社としての成長意欲を反映したものです。これにより国際的な認知度を高めるとともに、世界の投資家の皆さまに向けた「Gateway to Europe（欧州への玄関口）」としてのポジショニングを強化します。
- DWS、Xtrackers、RREEF という強固なプロダクトブランドをさらに明確化します。ファンド名の変更はありません。
- CEO ステファン・フープス：「ドイツ・アセット・マネジメントのもと、強固で定評あるブランド群を擁する国際的なアイデンティティを始動します。DWS にはドイツ本国のお客さまにアクティブ運用でアルファを創出してきた 70 年の歴史が礎としてあります。Xtrackers は、独立した有力な ETF およびパッシブ運用マンデートのブランドとして確立されています。また RREEF は、中核市場における 50 年以上の不動産運用の専門性を基盤としています。」
- ブランド変更の適用日は 2026 年 11 月初旬を予定しています。

DWS グループは本日、2026 年 11 月初旬をもって、ドイツ・アセット・マネジメントを新たなグローバルブランドアイデンティティとして導入すると発表しました。新たなブランドアイデンティティは、世界の投資家にとっての「Gateway to Europe（欧州への玄関口）」としての当社の役割を支えるとともに、ドイツおよび欧州に根差す伝統を強く打ち出しながら、地域および顧客セグメントを横断するグローバルな成長意欲を明確に示すものです。この変更により、グローバルなアンブレラブランドのもと、グループが世界各地で提供するサービス、専門性、運用実績を結集します。

新たなブランドアイデンティティのもとには、欧州の個人富裕層向けアクティブ運用事業の DWS、グローバル ETF およびパッシブ運用マンデート事業の Xtrackers、米国において不動産の専門性を担う RREEF という、定評ある強固なブランドを擁します。また、新ブランドアイデンティティは特に海外および機関投資家のお客さまに向けて展開します。既存のプロダクト名およびブランドの大半は変更しません。11 月以降、「by Deutsche Asset Management //」というエンドースメントにより、各プロダクトブランドとグローバルなプラットフォームとの結び付きを一層明確にします。一方、機関投資家向け事業およびプライベート・マーケットのサービスには、ドイツ・アセット・マネジメントを直接使用します。

DWS Group GmbH & Co. KGaA の CEO、ステファン・フープスは、次のように述べています。「ドイツ・アセット・マネジメントのもと、強固で定評あるブランド群を擁するグローバルなブランドアイデンティティを始動します。DWS は、ドイツ本国のお客さまにアクティブ運用でアルファを創出してきた 70 年の歴史を礎としています。DWS の強みをドイツおよび欧州の中核市場に集中させることで、その認知度と存在感をさらに高めていきます。Xtrackers は、市場で独立した有力な ETF およびパッシブ運用マンデートのブランドとして確立されており、ドイツ・アセット・マネジメントファミリーの一員としてさらなる恩恵を受けます。また RREEF は、中核市場における 50 年以上の不動産運用の専門性を基盤としています。」

フープスはさらに、次のように述べています。「ドイツ・アセット・マネジメントは、導入と同時に国際的に高い認知度が期待できる名称であり、世界の機関投資家のお客さまにもすでによく知られています。これをアンブレラブランドとして採用することは、お客さまへの明確なメッセージです。すなわち、欧州に深く根差し、十分な事業規模と受託者としての独立性を備えたグローバルな資産運用会社として、規律を重視したグローバルな専門性にに基づき、お客さまの長期的な目標達成を支援していくということです。」

戦略的背景と顧客重視

今回の取り組みによって、成長、卓越性、グローバルな存在感を重視する当社の次なる成長フェーズの幕が開けます。DWS グループは近年、堅調な事業運営や、多様な運用能力全般におけるモメンタムの醸成など、戦略上の優先課題を着実に実行してきました。その成果として、2025 年 3 月にはドイツの主要な中型株指数である MDAX に採用されました。

2022 年のキャピタル・マーケット・デーで示した戦略サイクルを完了し、DWS は 2026 年初めに次の段階へ入りました。これまで築いてきたプラットフォームを基盤に、世界各地の運用能力、専門性、運用実績を「Connecting the Dots (点と点をつなぐ)」ことで、お客さまに提供する成果と長期的な成長を一段と強化しています。また今年初めには、顧客カバレッジ部門をお客さまのセグメントにより明確に対応させ、個人富裕層および機関投資家向けの営業体制を整備しました。

ステファン・フープスはさらに、次のように説明しています。「私たちが目指すのは国際的な成長であり、そのためには新たなアプローチが求められます。機関投資家のお客さまとの接点を増やし、ドイツおよび欧州以外の地域での認知度を高める必要があります。お客さまとのリレーションをさらに包括的に捉える組織、よりグローバルな視野とアプローチを持つ組織、そして世界中のお客さまや人材に明確に認知される組織が必要です。成長戦略の次の段階に入るにあたり、私たちは、まだ十分に潜在力を発揮できていない領域を検証し、必要な変革に着手しました。事業組織を顧客グループ別に再編したことは、その方針に沿った重要な一歩でした。そしてドイツ・アセット・マネジメントへの移行方針もまた、その一環です。」

お客さまおよび投資家にとって、ドイチェ・アセット・マネジメントへの移行は、当社の国際的な成長意欲を反映しつつ、事業規模と欧州におけるリーダーシップを示す、明確で一貫したグローバルブランドをもたらします。統一されたブランドによって市場での認知度を高め、グローバル・プラットフォーム全体の連携を強化することで、戦略目標および財務目標の達成力を一段と高めます。

ブランド・ポートフォリオ — 「Deutsche Asset Management //」の傘下で強固なプロダクトブランドは維持

	現状	ブランド変更適用日以降 (2026年11月初旬を予定)
グループ		
アクティブ運用		
パッシブ運用		
米国不動産ビジネス		
機関投資家ビジネス		

ドイチェ・アセット・マネジメントは当社のグローバルブランドアイデンティティとして機能します。一方、既存のプロダクト名およびファンド名、ならびに各運用事業が持つ専門的な強みは変更しません。

各ブランドはそれぞれのアイデンティティ、特色、専門性を維持します。「by Deutsche Asset Management //

というエンドースメントは、共通の基準、事業規模、機関投資家からの信頼性を備えた一つのグローバル資産運用プラットフォームに、すべてのブランドが属していることを示します。すでに主としてグローバルまたは機関投資家向けに事業を展開している分野、あるいはプライベート・マーケット投資に注力する分野では、プロダクト名を変更することなく、ドイチェ・アセット・マネジメントを直接使用します。

新たなグローバル・アンブレラブランドは、2026年11月から2027年3月まで段階的に導入します。当面の間、親会社の社名は DWS Group GmbH & Co. KGaA のままとし、株式ティッカーも DWS を維持します。

DWS グループについて

DWS グループ（以下 DWS）は、約 1 兆 1,900 億ユーロ（2026 年 6 月末時点）の運用資産残高を有する、グローバルに事業を展開する欧州有数の資産運用会社です。世界各地の拠点に約 5,000 名の従業員を擁し、個人投資家、機関投資家、企業のお客様に対して幅広い資産運用ソリューションおよびカスタマイズされたポートフォリオを提供しています。DWS は、アクティブ運用、パッシブ運用、オルタナティブ運用にわたる多様な専門性を強みとし、流動性資産から非流動性資産までの主要な資産クラスにおいて、お客様のニーズに応じた資産運用ソリューションを提供しています。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 359 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社は、DWS グループの日本における拠点であり、投資信託ビジネス・公的年金・企業年金運用の長年にわたる経験、ノウハウ及び実績を有します。グローバルな運用体制と独自の洞察力を駆使した質の高いサービスをご提供するとともに、日本市場の資産運用ニーズに的確にお応えすることを目指します。

ご留意事項

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとに DWS グループが作成・発行したものをドイツ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳して提供しておりますが、正確性・完全性についてドイツ・アセット・マネジメント株式会社が責任を負うものではありません。日本語訳とオリジナル英文資料の内容に相違がある場合には、英文資料の内容を優先します。当資料に記載の見解や見通し等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

2026-Comm 1928